

【答弁】 近藤隆則 市長

①学童保育は保育サービスであり、特別な支援を必要とする児童が日中一時支援事業を利用するのは、学童保育にはない障がいに対する専門的な知識と技術が必要な障害福祉サービスであるためと考えます。当然、障がいがあるために家計の負担が増えることはあってはいけないことで



三宅 真名 議員
(NPO 法人 color)

【質問内容】

①日中一時支援を学童保育と同様の目的で使用する場合に、学童保育相当の料金負担で利用することはできないか

②支援に必要な中学・高校生が学童保育と同様に日中一時支援を利用して、18歳未満の児童についても小学生と同様に学童保育相当の料金で利用することはできないか

す。働く保護者のための学童保育は支援員不足の問題があり、学童保育制度と障害福祉制度の在り方については、支援員の確保も含めて検討していきたいと思っています。

②学童保育は障害福祉サービスと異なる性質の保育サービスです。一般的に中学・高校生は自身自身で生活の安全管理ができ、行動を自律できる年齢であると考えられるため、一部例外を除き学童保育の必要性はないと考えます。そのため、学童保育相当の料金で日中一時支援事業を利用することは制度の趣旨に合うものではないと考えます。

一方、支援体制としては日中一時支援事業以外の選択肢も必要と考えていますので、障がい者の「居場所づくり」を地域活動支援センターI型の整備の中で検討していきます。



川上 路代 議員
(NPO 法人 color)

学童保育・日中一時支援事業の利用料について

高梁市女性議会を開催

女性の視点に立った提案や意見を議会形式の場で発言することで、女性が市政に参画していく意識啓発を図るとともに市政運営の参考とすることを目的として、10月24日に「高梁市女性議会」を初めて開催しました。今回は市内の団体から6人が参加し、市長が答弁を行いました。

なお、高梁市女性議会の様子は「高梁市行政放送」で順次お伝えします。
※紙面の都合上、答弁については一部抜粋・要約して掲載しています。

問 秘書広報課 ☎ (21) 0210



市ホームページ

【質問内容】

①農地造成について(備中町湯野地区)

②新規就農者の誘致について

③特産品の開発や地元農産物を食べることができる場所について

【答弁】 近藤隆則 市長

①要望を受けている農地造成は、令和2年度の事業着手へ向けて県に要望を行うとともに、現地踏査などの事業計画を進めているところです。

事業完成後は、新規就農者の支援とともに、適正な造成地の管理と情報共有を図りたいと考えています。

②担い手の確保に向けて、関係機関と連携し、さまざまな取り組みを実施しています。また、新規就農者向けの支援制度を活用していただくと同時に、周囲の受け入れ態勢の環境づくりにもご協力をお願いしたいと



中迫 貞子 議員
(JA びほくトマト部会 女性部)

市の基幹産業「農業」について



藤村 侑久子 議員
(たかはし With フォーラム)

【答弁】 近藤隆則 市長

①男女共同参画基本計画策定後の取り組み状況について、平成27年度以

【質問内容】

①男女共同参画基本計画について策定時に目標が示されているが、その後の取り組みについて

②女性のエンパワーメントができるような活動の拠点づくりについて



妹尾 志津子 議長
(備北商工会 女性部)

高梁市女性議会 議長

男女共同参画について



黒岩 香 議員
(JA びほくトマト部会 女性部)

③本市を代表する農産物を使用した特産品の開発は、これからの必要だと考えています。地域資源を活用した新たな製品や商品の開発については、サポート事業をうまく活用していただきたいと思っています。また、高梁の農産物や特産品を提供する側のサポートも充実させ、地元の良いものを再発見した商品開発などについて、引き続き支援していきたいと考えています。



降の取り組みを市ホームページで公表したところですが、今後は関係団体などにもお知らせし、関係機関と連携しながら取り組みを進めてまいりたいと考えています。

②男女共同参画を推進するための公民館との連携、推進委員制度導入については、理解を深めていくために有効な手段であると考えます。しかしながら、小規模の自治体が単独で実施するには難しい面もあるため、岡山県のウイズセンターなど関係機関と協力することで、公民館で男女共同参画に関する事業を展開することは可能だと考えています。今後はワークライフバランスの推進、働き方改革、女性の活躍推進なども欠かせない要素であり、こうした観点からも男女共同参画の推進を図る必要があると考えています。